

## 自 己 評 価 書

1. 学業についての自己評価、学業以外の活動実績、社会人としての活動実績、出願の動機等を2,000字以内で記述すること。法学既修者枠のうち「5年一貫型教育選抜」に出願する者が、それ以外の選抜方法による法学既修者枠にも出願する場合は、自署した原本1通、写しを1通で差し支えない。
2. 「社会人」に該当する者は、社会人としての活動経験を証する客観的資料（在職（期間）証明書等の写しで雇用期間や具体的な労働時間等（1か月の勤務日数や時間数等）を確認できる資料）を添付すること。適切な客観的資料を準備できない場合には、その理由を説明した書面（様式自由）で代えることができるが、その場合でも、学業以外の活動に従事していたと認めるべき事由を具体的に記述するようにすること。例えば、就業先名、雇用期間及び具体的な労働時間等（1か月の勤務日数や時間数等）を記述するなど。また、提出書類はA4サイズが望ましい。
3. 法学未修者枠の志願者のうち、法学部・法学科の卒業または卒業見込みで「他学部出身者」に該当する者（法学以外の科目に重点を置いて学修した者）は、学部の卒業に必要な専門科目の総単位数を所定欄に記載すること。
4. 氏名（各頁）以外は、ワープロ等の使用可。ただし、貼り付けではなく本紙に直接印字のこと。なお、この用紙は京都大学法科大学院ホームページ（<https://lawschool.law.kyoto-u.ac.jp/nyushi/yoko/#sct03>）からもダウンロードできる。
5. 記入した用紙のみ左上ホッチキス留めし、提出すること。上記2の客観的資料・書面は、自己評価書の末尾に重ねてひとまとめにホッチキス留めすること。
6. ※欄は、記入しないこと。

（上記3に該当する者のみ記入のこと）学部の卒業に必要な専門科目の総単位数	単位
--------------------------------------	----

氏名（自署）	（4か所あり）
<div style="border: 1px dashed gray; min-height: 380px;"></div>	





